

秋の部優秀賞十首

そとやま た
外山を癸ち

とうげ もりおか のぞ
この峠より盛岡を望みし

しょうじよ はは おも
少女の母を思へり

埼玉県朝霞市 小松 隆

もりおか お た りん は れいき
盛岡に降り立ち凜と張る冷気に

わ せ
おのず吾が背の

の
伸びるをおぼゆ

神奈川県逗子市 山口 恵子

じょうもん まっせい こ つど い
縄文の末裔の子ら集い居て

の や ほむら
野焼きの焰

ひんめ
瞳にうつす

岩手県盛岡市 小野 泉

こずかた しろあと
不来方の城跡

つゆ はれま

梅雨の晴間にて

わかば とんねるある

もみぢ若葉のトンネル歩く

神奈川県湯河原町 三好静江

あつ あき

熱い秋

たくぼくしの しろあと

啄木偲ぶ城跡で

ろっくうた いしがきうな

ロック歌えば石垣唸る

岩手県盛岡市 三澤信裕

かみ はし

上の橋

たみこ かひ いとお

民子の歌碑ぞ 愛しや

せおと な うた さと

さやけし瀬音 汝が歌の里

東京都新宿区 佐藤慶子

ゆうぐれ かがりびも おおぞら

夕暮の篝火燃える大空に

はなびあいず

花火合図に

だしうご だ

山車動き出す

岩手県盛岡市 花坂俊子

もりおか しんじやぶさめ
盛岡の神事流鏑馬みごとなり

いたまといぬ
板的射抜き

きゅうしゃかいちゅう
九射皆中

青森県八戸市

黄 綿

溪

湖

(本名: 昶行)

しんさい あや
震災で危ぶまれしが

もりおか なかつがわ
盛岡の中津川には

さけ そじょう
鮭の遡上す

岩手県盛岡市

鈴 木

充

二百キロを

は さけ せ
のぼり果たした鮭の背に

あき ひひか めだる よう
秋の陽光るメダルの様に

岩手県盛岡市

小 野

泉

平成二十三年十二月選 秋の部

投稿数 二百十六首

選者 八重嶋 勲 氏